

モニュメント  
「飛翔」は第43回  
国体の時の  
記念碑です



昭和38(1963)年5月

## 西京極スポーツセンター開設

昭和5(1930)年に昭和天皇御成婚奉祝記念に設けられた運動場がルーツの西京極スポーツセンター。戦後、進駐軍に接収されていましたが、昭和26(1951)年に解除、その後整備が進められ、昭和38(1963)年には、陸上競技場・プール・体育館・野球場を備えた総合スポーツ施設となりました。

昭和63(1988)年に京都で開催された第43回国民体育大会では、メイン会場となっています。

平成17(2005)年4月

## 京北町と京都市合併

平成17(2005)年の京都府北桑田郡京北町と京都市の合併に伴い、旧京北町の区域はすべて右京区に編入され、右京区は京都市で最大の面積(292.07平方キロメートル)の行政区となりました。

かつての京北町役場が右京区役所京北出張所となり、隣接するウッディ京北は、平成22(2010)年に京都市で初めての、そして唯一の「道の駅」となりました。



平成20(2008)年3月

## サンサ右京オープン

市営地下鉄東西線の太秦天神川駅までの延伸、嵐電新駅(嵐電天神川駅)の開設、さらには駅前の新たなバスターミナル整備により、右京区内の公共交通事情は劇的に改善されることとなりました。

そして、これと共に進められてきたのが、地下鉄新駅周辺(太秦東部地区)の区画整理と市街地再開発です。サンサ右京は、平成20(2008)年右京区総合庁舎・地域体育館・図書館などが入る再開発事業のメイン施設として建設されました。



ツアーガイドは北川洋一区長でした。皆さんもまちを歩くと、右京の来し方行く末に思いをはせてみませんか。